



里田 治議員

**問** 新生「高島市」は「若い力」を望む多くの声でスタートした。しかし、課題も多く、厳しい市政運営であることは云うまでもない。その中で、多くの市民が期待・注目している「新市政の拠点施設」の「新庁舎の建設構想について」市長に伺う。起債は約370億円で積立金は約48億円であると聞く。厳しい財政状況であるが、これは合併協議会の確認事項であり、「今津町南沼」に

建設できるよう積極的に、前向きに取り組んで頂きたい。建設費用の約40億円は、特例債の約170億円の一部充当なのか。具体的な財源対策は。また、市長は、建設は市民が納得する形でと云っているが、具体的にどの形なのか伺う。

**答** 企画部長  
新庁舎の建設に係る基本的事項等は、先の市長の施政方針等のおり、合併合意を尊重し推進すべきものと存じております。



新庁舎建設予定地（今津町今津地先）

の、現下その充当財源として、合併特例債が最も有利かつ合理的なものとして認識いたしております。

なお、これらの建設計画等については、今後市議会をはじめ地域審議会など様々な場面で精査、検討等を重ねさせていただく中で最も有効かつ有益な方策を見出し、広く住民の皆様にも開示し納得を得たい考えです。



**問** 基本となる5項目の協議事項に対し住民の合意の中、新政高島市がスタートした。4項目に関しては合意を基に動いているが、残り1項目、新庁舎建設については、市長の



井花 定樹議員

**答** 企画部長  
新庁舎建設の取扱いに関する基本的方向等は、市長の施政方針等のおり合併合意に基づくこととして、当面は庁内にプロジェクトチームを設置すべく、メンバー構成等を含めて準備中であります。

所信表明で述べているように、建設プロジェクトチームを早急に立ち上げ、20、30年先まで見据えた行財政の効率化、経費削減を基に建設にかかることだが、

①プロジェクトチームのメンバー構成  
②活動を始めるのは、何時からで、建設目標は何年か  
③新庁舎建設地は、条例で今津町今津448番地20であるが、早急に建設地看板を立てるべきでないか

新しい庁舎は、機能性や経済性等に加えて市民性はもとより環境や防災等の今日的課題への配慮など多様な調査研究、検討協議等が不可欠であり、なおかつ財政計画等との調整の上に関係各々の合意形成等を得ての建設計画の樹立を前提として、適当な時期に、適確な整備促進を図りたく存じております。建設予定敷地への看板設置の件は、先の対応方向と併せて関係方面と協議調整し、たく考えます。

